



発行所

全国曹洞宗青年会

〒106 0014 東京都港区芝2-5-2

曹洞宗宗務庁内

発行責任者 寿松本宏毅

編集責任者 東井千明

TEL. 03-3454-5411



目 次

○環境問題特集 ーその3ー	
※美しい水と緑 いつまでも	1
岩手県種市の大沢農村振興会（岩手日報社、3月30日記事より）	
※環境保全運動と自然環境のかかわり	2
漁業婦人部の運動パンフレットより	
※漁業婦人部の取り組み	3
○せっけんを作ってみよう	6
○インターネットの世界をのぞいてみよう ーその3ー	7
○紙上研修「利他行」(4)	11
ー太田久紀 先生ー	
○被災地・神戸市長田区で識字教室を続ける僧	13
藤井隆英 氏（朝日新聞、1月29日記事より）	
○ひまわりの会とは	14
ひまわりの会事務局長 藤井隆英 氏	
○阪神淡路大震災被災者追悼法要厳修	17
○「被災地のまち」を見つめて	18
小野幸一郎 氏	
○禅文化学林 地方開催!!	20
大分・別府大会無事円成!!	
○平成10年度総会開催について(ご案内)	22
○コラム	23
○編集後記	24

☆環境問題特集—その3—

〔岩手日報、3月30日掲載記事より〕

美しい水と緑 いつまでも

種市の大沢農村振興会

意識啓発へ講演 川に稚魚も放流

種市町大沢地区の大沢農村振興会（大石福蔵会長）は二十七日、「水と緑あふれる村づくり講演会」を開いた。自然と共生した農村生活の定着が目的。住民は講演のほか、地域を流れる川尻川にヤマメとイワナの稚魚を放流。魚がすみ続ける水と土の保全を誓った。

同振興会が県と町から「ふるさと水と土ふれあい事業」の委託を受けて実施。子供からお年寄りまで同地域住民のほか城内地区から子供も駆け付け、約六十人が参加した。

大沢公民館での講演と映画上映で、同町東長寺の東井千明住職が生感系や食物連鎖について説明。水を汚さない台所洗済の節約方法などを紹介し、「自分の身の回りでできることから始めよう」と呼び掛けた。

続いて同公民館近くと流れる川尻川にヤマメとイワナの稚魚約一万六千匹を放した。住民は稚魚が川の流れに負けまいと泳ぐ姿を見守り、「元気に大きく育て」と声を掛けていた。

城内小学校六年の中西啓太君（一）は「今まで川を汚し、魚がすみ場所をなくしてしまうようなことを

気付かない間にしてきた。これから自然への影響を考え生活したい」と話していた。

（中略）川尻川は集落や水田の間を流れるため、生活排水の影響を受けやすい。地区の子供会や老人会が川の清掃活動をしている。地元住民によると川にはカジカも生息するとい

う。



活力ある農村生活と農業生産を目指している。川尻川への稚魚放流事

業は初めての試み。大石会長は「川に魚がすみ続ける環境を守ることが、種市は地球の環境保護につながる」と期待する。

（岩手日報社より提供）

○本庁のフィルムライブラリー『地球の秘密』上映の勉強会も!!

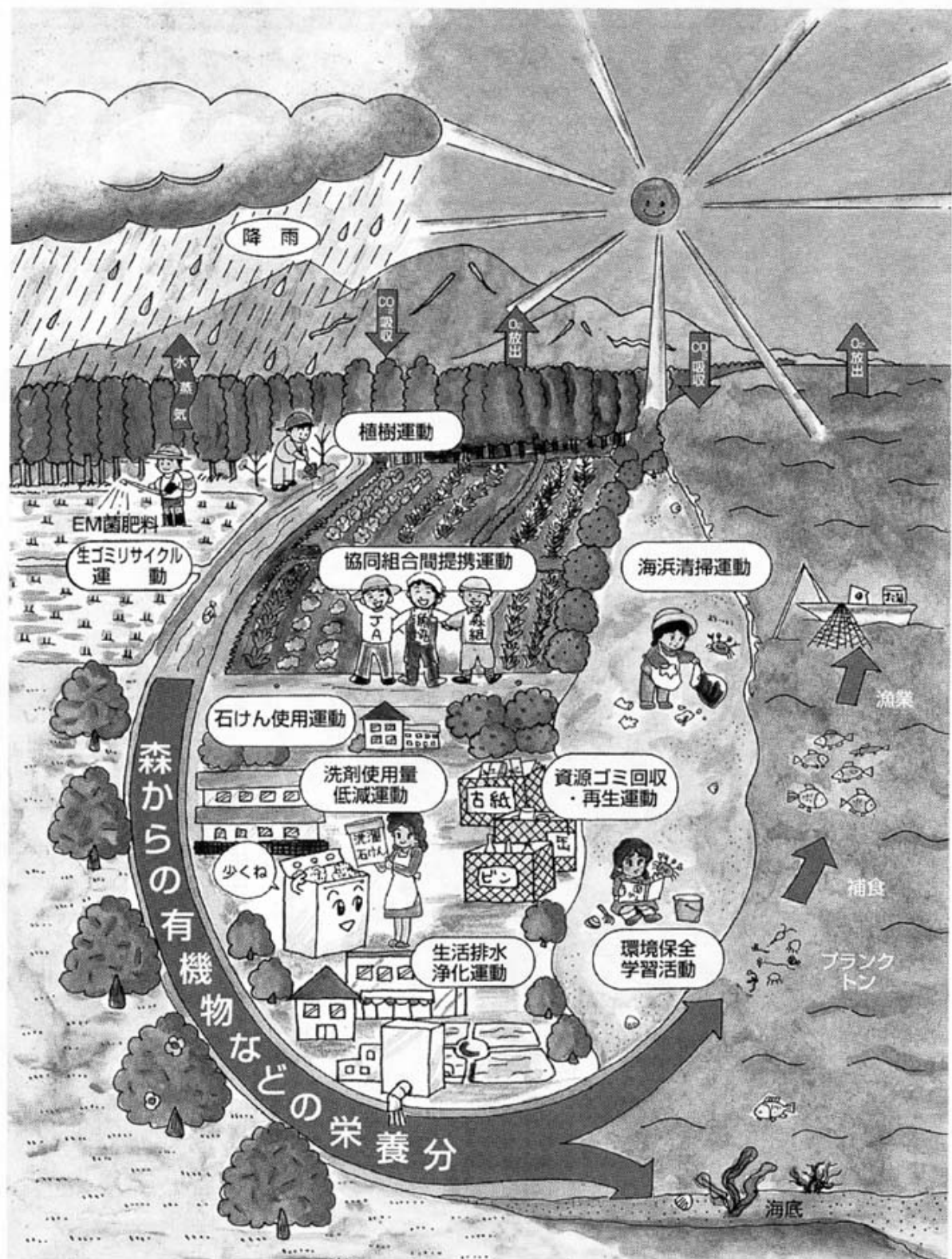
宗門婦人会が取り組む“せっけん”のつくり方・P2の図や漁協婦人部の取り組みなどを説明。

次回は、自分たちで“せっけん”を作ってみようと呼びかけると、子供たちも“作ってみたい!!”と積極的な関心を示した。

※本庁関係各位に対し紙面を借りて御礼申し上げます。

◎漁業婦人部の運動パンフレットより —

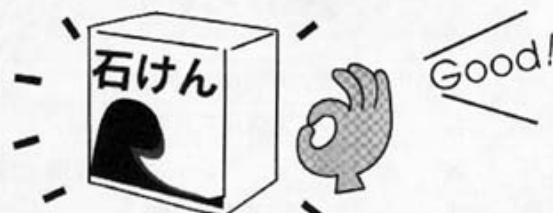
環境保全運動と自然環境のかかわり



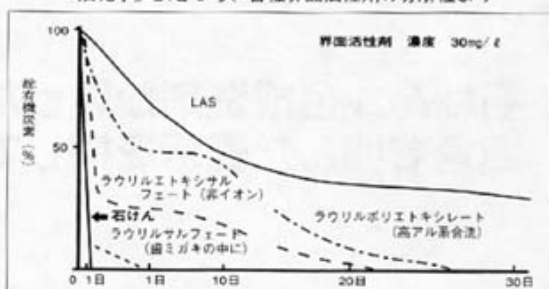
☆環境問題特集—その3—

●漁協婦人部の取り組み

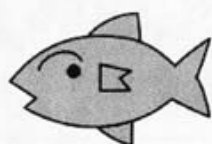
なぜ、石けんが良いのか？ 界面活性剤の分解性が問題分解時間の比較



『油化学』24巻3号、各種界面活性剤の分解性より



石けんはほぼ一日で分解されて水と炭酸ガスになり自然界にとけこみます。ところが合成洗剤は1ヶ月ちかく分解されません。毎日使うものは、早く分解され、早く自然に帰るものの方がいいですね。



魚や水生生物への影響

一度破壊した環境はなかなか元に戻りません。魚の急性毒性実験では、合成洗剤がえらの細胞を破壊し、魚は呼吸ができなくなり、死んでしまいます。しかもメダカやウニの卵、ノリの芽など海や川の成育初期のものは大きな影響を受けます。それは魚

介類のえさである微生物や小魚にも影響が大きいことにもなります。さらに合成洗剤は、水を浄化する働きを持つバクテリアやイトミミズなどの微生物の活性を失わせてしまい、本来自然が持っている水の浄化作用が弱まり、海や川の汚染は進みます。



人体への影響

合成洗剤を使うことによって、手荒れやしっしんなどを引き起こします。ねずみを使った実験では内臓障害や精子が破壊されたり胎児に影響を与えることが証明されています。避妊薬にも合成洗剤の成分である界面活性剤が使われています。

合成洗剤はどのような経路で体内へはいるのでしょうか？



☆環境問題特集—その3—

●漁協婦人部の取り組み

石けんか合成洗剤か迷ったら
四角で囲んだ表示を探して下さい。



これは石けんです

家庭用品品質表示法に基づく表示

品名	洗濯用石けん
用途	綿・麻・レーヨン・合成繊維用
液性	弱アルカリ性
成分	脂肪酸ナトリウム (純石けん分) (70%) 炭酸塩
正味量	1,750g
標準使用量	水30ℓに対して35g



まず「品名」をみましょう

石けんは、「洗濯用石けん」または「台所用石けん」のように、「石けん」という字が書いてあります。ただし「複合石けん」と書いてあったら、合成洗剤が石けんにまざっているのでご注意ください！



つぎに「成分」をみましょう

石けんも合成洗剤も界面活性剤と洗浄補助剤で構成されていますが、石けんの界面活性剤は、「脂肪酸ナトリウム」だけです。それ以外のややこしいカタカナの界面活性剤はすべて合成洗剤です。もちろん、無リン洗剤も合成洗剤です。

これは合成洗剤です

家庭用品品質表示法に基づく表示

品名	洗濯用合成洗剤
用途	綿・麻・レーヨン・合成繊維用
液性	弱アルカリ性
成分	界面活性剤 (35%) 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム アルキル硫酸エステルナトリウム ポリオキシエチレンアルキルエーテル アルカノイルオキシベンゼンスルホン酸ナトリウム けい酸塩、炭酸塩、 酵素、蛍光剤、漂白剤配合
正味量	1,500g
標準使用量	水30ℓに対して30g

洗濯用合成洗剤と洗濯用せっけんの成分構成は...?



直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム
有名なLASというものです。

★環境問題特集—その3—

●漁協婦人部の取り組み

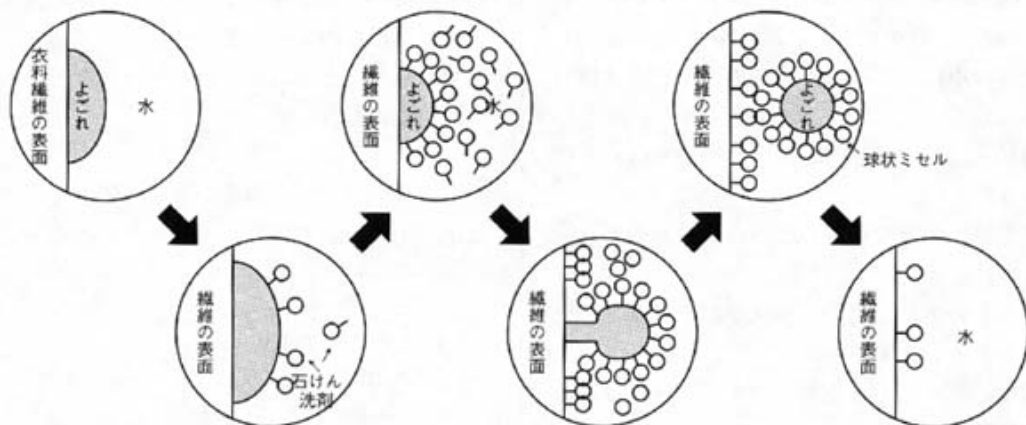
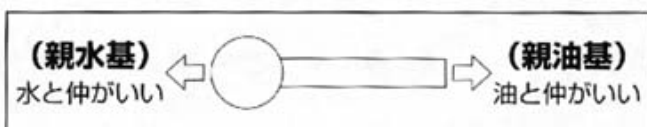
界面活性剤とは

石けんや合成洗剤の主成分なのです。汗やほこりの汚れは水で落ちますが、それでも落ちない油汚れは界面活性剤の働きでおちます。

汚れを落とす原理とは

混じりにくい油と水をなじませて、水の中に汚れを溶かし出します。つまり油と仲がいい「親油基」が油汚れを取り囲み、水と仲がいい「親水基」が水の中に汚れを溶かし出すのです。

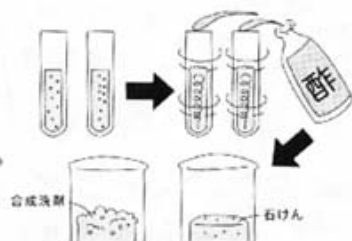
界面活性剤分子を図に書くとマッチ棒のようになります。



あなたも実験を!

☆合成洗剤か石けんかわからなくなったら

同じ量の水に合成洗剤または、石けんを溶かし、泡がたつ程よく振ります。お酢を入れて振り、泡が残ったら合成洗剤。泡が消えたら石けん。



耳よりな話!

衣替えて長時間しまう前に...

洗濯機のすすぎ水に大さじ1杯の酢を入れると黄ばみの防止に!

衣類がふんわりとなるため、毎日の洗濯にも... 静電気も防止します。

せっけんを作ってみよう

小学生向け

岐阜県竜雲寺婦人会 足立勝子さん

つぎに、小学生向け理科教育のテキストから、ご紹介します。

〔用意するもの〕

廃油・水酸化ナトリウム（カセイソーダ）・ごはん・ガスこんろ・温度計・ガラス棒・1ℓのあき罐・ゴム手袋

〔注意すること〕

- ①水酸化ナトリウムは、じかに手で触れないよう、ゴム手袋などをつけて扱きましょう。
- ②できあがったせっけんは、洗浄力が強いので、皮膚への直接の使用はさけましょう。

〔作りかた〕

- ①廃油250mlを、1ℓのあき罐に入れ約80度に熱する。
- ②ごはん40gと、水酸化ナトリウム35gを、200ml水に溶かして、水溶液をつくる。
- ③廃油の中に、この水溶液を加え、ガラス棒でかき回す。
- ④約10～15分でごはんが溶けて、油が白く乳化する。
- ⑤90度以上の温度を保ちながら、約30分かき回し続けます。
- ⑥液があめ色に変化し、粘気がでてきたら、火からおろします。
- ⑦温度が下がってきたら、プラスチックなどの型に移します。
- ⑧日のあたる窓辺など、温度の高いところで、固まるまで一週間くらい置いておきます。

〔香りをつけてみよう〕

ミカンの皮などを、ごはんと一緒に入れます。香りのあるせっけんが作れます。ほかのものも試してみましょう。

〔形を作ってみよう〕

できあがったせっけんを、粘土のように手で練って、いろいろな形をつくってみましょう。ゴム手袋をつけるのを忘れないように。

岐阜県竜雲寺婦人会、足立勝子さんがなさっているせっけんの作りかたをご紹介します。とても簡単です。

〔材料〕

廃油	1759cc
カセイソーダ	250g
ぬるま湯又はお茶	500cc

〔作りかた〕

- ①海苔や鰹ぶしなどの空罐に、カセイソーダを入れる。
- ②お茶をゆっくり入れて、棒で3～5分かき混ぜる。(煙が出ますが、すぐに消えます)
- ③その中に、油を入れて5分くらいかき混ぜる。(だんだん固まってきます)
- ④やわらかいうちに、豆腐のバックなどに入れて、固める。

浴槽やレンジ、食器洗いなどに使ってみてください。汚れがよく落ち、手も荒れません。

※カセイソーダは薬店等で、但し、その際、ハンコが必要ですのでご注意を//
※曹洞宗婦人会『きやら』No.36 P 34より転載させていただきました。ありがとうございました。



☆今話題のインターネットとは??

インターネットの世界を のぞいてみよう! (その3)

インターネットの連載も3回目となりました。今回はインターネットに繋ぐにはどうしたら良いのかを少し具体的にご案内いたします。人によって条件が異なると思いますので、次の選択肢で選んで下さい。

1. PC-VAN、Biglobeの会員である ①へ
2. Biglobe以外のプロバイダ(〇〇ネット)の会員である ②へ
3. まだどのプロバイダとも契約していない ③へ

①の場合 PC-VAN又はBiglobe会員証と、Biglobeアクセスポイント一覧を用意して下さい。

(万一紛失してしまった場合は、Biglobeカスタマーサポート0120-55-0962へ電話して請求する必要があります。)

会員証に記載されているユーザIDとパスワード、プライマリDNS、セカンダリDNS、メールサーバーアドレスをメモしておいて下さい。(大文字・小文字の区別は慎重に!)。次に、アクセスポイント一覧から自分の住所に一番近いところの電話番号を探してメモします。

電話がISDNならば、ダイヤルアップIP接続(じっくり接続)のISDNの項目、

普通の電話回線なら、ダイヤルアップIP接続(じっくり接続)の33.6kの項目から選びます。

まとめ:メモする項目は次の通りです。

- 接続先電話番号 例:0XX-XXX-XXXX (自分の市内局番と同じなのがベスト)
- ユーザーID 例:YREXXXXX (半角英数文字)
- パスワード 例:ABCDEFGH (半角・大文字と小文字に注意)
- プライマリDSN 例:133.205.63.130 (4つの数字とドット)
- セカンダリDSN 例:133.205.16.130
- メールアドレス 例:YREXXXXX@mxx.biglobe.ne.jp (下記参照)
- メールサーバー 例:mxx.biglobe.ne.jp (下記参照)

なお、一部メールアドレスに設定変更の必要があります。Biglobeからのアナウンスメントを参考までに載せておきますが、不明な点はカスタマーサポート0120-55-0962に問い合わせして下さい。

参考 (Biglobeのホームページより一部転載)

お手元の会員証に記載されているサーバー情報はそのままご利用いただけます。新たにダイヤルアップIP接続が利用できるようになった方、設定内容がわからなくなった方はこちらを参考にして、設定をして下さい。

■メールアドレス

・BIGLOBEメールのメール名(メールアカウント)をお持ちの方

:<メールアカウント>@m**.biglobe.ne.jp

m**はメールアカウント登録時の自動設定されます。

- ・BIGLOBEメールのメール名(メールアドレス)を設定していない方(IDでのインターネットアクセス)
: <ユーザーID>@biglobe.ne.jp
 - ・従来のばりばりコースのメールアドレス (foo@mx*.meshnet.or.jp) をお使いの方
: foo@mx*.meshnet.or.jp ※変更はありません
- このメールサービスは1999年3月31日までご利用いただけます。

■メールサーバー

- ・BIGLOBEメールのメール名(メールアドレス)をお持ちの方
: m**.biglobe.ne.jp
m**はメールアドレス登録時に自動設定されます。
 - ・BIGLOBEメールのメール名(メールアドレス)を設定していない方(IDでのインターネットアクセス)
: mzz.biglobe.ne.jp
 - ・従来のばりばりコースのメールアドレス (foo@mx*.meshnet.or.jp) をお使いの方
: mx*.meshnet.or.jp ※変更はありません
- このメールサービスは1999年3月31日までご利用いただけます。

■ドメイン名(メールアドレスの“@”より右側と同じです)

- ・BIGLOBEメールのメール名(メールアドレス)をお持ちの方
: m**.biglobe.ne.jp
m**はメールアドレス登録時に自動設定されます。
 - ・BIGLOBEメールのメール名(メールアドレス)を設定していない方(IDでのインターネットアクセス)
: mzz.biglobe.ne.jp
 - ・従来のばりばりコースのメールアドレス (foo@mx*.meshnet.or.jp) をお使いの方
: mx*.meshnet.or.jp ※変更はありません
- このメールサービスは1999年3月31日までご利用いただけます。

②の場合

プロバイダの登録書(会員証)とアクセスポイント一覧を用意して下さい。
会員証に記載されているユーザー名(或いはPPPログイン名、ユーザーID)と接続パスワード、プライマリDNS、セカンダリDNS、メニューサーバーアドレスをメモしておいて下さい。(大文字・小文字の区別は慎重!) メールアカウントと接続アカウントが異なる場合がありますので、その場合は別々にメモします。
次に、アクセスポイント一覧から自分の住所に一番近いところの電話番号をメモします。

電話がISDNならば、ISDNの項目、普通の電話回線なら自分のコンピュータに繋がっているモデムの種類(144とか288とか336)に合わせて電話番号を選びます。プロバイダにより名称が微妙に異なりますので、不明な点はプロバイダに問い合わせるのが確実です。

まとめ: メモする項目は次の通りです。

- 接続先(アクセス)電話番号 例: 0XX-XXX-XXXX (自分の市内局番と同じ所がベスト)
- ユーザー名(PPPログイン名) 例: zensosei (半角英数文字)
- 接続(PPP)パスワード 例: ABCD1234 (半角・大文字と小文字に注意)
- メールアドレス(ユーザーID) 例: zensosei (接続アカウントと同じ場合もある)
- メールパスワード 例: ABCDEFG (半角・大文字と小文字に注意)
- プライマリDSN 例: 133.205.63.130 (4つの数字とドット)
- セカンダリDSN 例: 133.205.16.130 (セカンダリが無い場合もあります)
- メールアドレス 例: zensosei@XX.XXX.ne.jp
- メールサーバー 例: mail.XXX.ne.jp

③の場合 まだ何処のプロバイダとも契約していない方、昔青通信前号や、市販されているインターネット入門書を参考にしてプロバイダを選定してください。体験入会と言う形で、無料で何週間か仮契約できるプロバイダもあります。

接続を実践してみましょう

まず、パソコンにモデム（ISDNの場合はターミナルアダプタとDSU）が接続されていて、電源が入っていることを確認します。モジュラーケーブルの接続の仕方はモデムの説明書を参照してください。

すでにパソコン通信をしている場合はそのまま大丈夫だと思います。

ここでは紙面の都合上Windows95+ダイヤルアップネットワークの場合で説明します。マッキントッシュなど、これ以外の方はインターネットの入門書を参考に設定してみてください。先ほどにメモがあれば比較的簡単に設定できる筈です。

Windows95での設定・接続

- Windows95のインターネットセットアップウィザードによる設定方法
ここではInternet Explorer3.0が入っている場合で説明しますが、それ以外でも大体同じ筈です。
- 画面左下の「スタート」をマウスで左クリック、「プログラム」「アクセサリ」「インターネットツール」から「インターネット接続（セットアップウィザード）」を選択（ダブルクリック）。ウィザードが起動するので、「次へ」を左クリック。
- 「セットアップオプション」が表示され、「手動（M）」をチェックし、「次へ」を左クリック。
- 「モデムが必要です」が表示されたら「次へ」をクリック。「モデムウィザード」が表示、「次へ」。
- モデムの名前が表示され、間違いなければ「次へ」、「完了」をクリック。
- 「接続方法」を選択。通常は「電話回線を使って接続」をチェックします。
- 「インターネットメールの設定」電子メールで使うソフトの選択です。「Windows Messagingを使用しない」で構わないでしょう。「次へ」をクリックします。
- もし「ファイルのインストール」画面が表示された場合、Windows95のCDをパソコンのCDドライブに入れ、「次へ」をクリック。
- 「サービスプロバイダ名」の入力は、自分分かるように名前を入力します。何でも構いません。
- 「電話番号」を入力します。先ほどのメモの電話番号です。市外番号0XX、電話番号xxx-xxxxのように市外局番も入力。「国番号」については必ず「日本81」を選択してください。ここを間違えると後で国際電話料金を請求されることがあります。「次へ」をクリック。
- 「ユーザー名（接続アカウント）」「パスワード」を入力。これもメモした通り入力します。半角であること、大文字小文字の区別は間違いがないか確認して下さい。「次へ」をクリック。
- 「IPアドレス」は「インターネットサービスプロバイダが自動的に割り当てる」をチェックして「次へ」。
- 「DSNサーバーアドレス」を入力。これを先ほどメモしたものを入力。「別のDSNサーバー」は、プロバイダにより有る場合と無い場合があります。202.32.119.34のように、半角で入力します。
- これでセットアップは完了です。「完了」をクリック。初期画面に戻ります。
- デスクトップ画面上にある「マイコンピュータ」というコンピュータの絵をダブルクリック、その中の「ダイヤルアップネットワーク」の中に、(9)で入力した名前があるはず。これをクリック。
- 「ユーザー名」、「パスワード」を確認。空欄の場合は再入力して下さい。パスワードは秘密保持のため****で表示されます。「パスワードの保存」をチェックしておくこと次から入力する手間が省けます。「ダイヤルのプロパティ(D)」をクリック。
- 自分の所在地情報です。「市外局番」を入力します。「国番号」は日本81を確認。「外線発信番号」は、

内線電話を使っている場合のみ発信番号を入力。次に、使っている電話回線が「トーン（ブッシュ回線）」か「パルス（ダイヤル回線）」かを選択。ここを間違えると接続できません。よく間違える個所です。
⑱ 設定が終了したら「OK」をクリック。

これで一応終了です。デスクトップ画面上にある「インターネット」をダブルクリックしてみてください。「接続」をクリックすると、「ダイヤル中」という表示が出てダイヤルが始まります。やがて「ネットワークへのログオン」（ユーザー名とパスワードの確認）「XXXXXbpsで接続」と表示され、インターネットへ接続されるはず。インターネットの接続を終了して電話を切る場合は、「タスクバー」（画面の下にあるメニューバー）の中にある「ダイヤルアップネットワーク」をクリックして「切断」を選んで下さい。

以上ですが、文字だけの説明では充分ではなかったかもしれません。もし接続できない場合はもう一度今までの項目を見直して見て下さい。最近は分かりやすい入門書も発売されておりますので参考にするのもよいでしょう。いろいろな設定の仕方が丁寧にまとめられています。

インターネットの接続は、経験者が近くにいる場合は、設定を手伝ってもらおうようにすると簡単に行えるでしょう。意外と些細なことが原因で接続できない場合が多いし、大抵同じような個所を間違えるものです。一度接続してしまえば、あとは「慣れ」です。是非TRYして見て下さい。

※次回は電子メールの利便性とネットワークエチケットについて書きたいと思います。(不尽)

—— 営業品目 ——

- ◎法衣創作から製造販売
- ◎法衣ドライクリーニングから修理
- ◎仏具製造販売から修理一切
- ◎仏具製造販売及びクリニック
- ◎各種御進物用品・記念品

法衣・仏具の草桶商店

〒616-8322 京都市右京区嵯峨野芝野町35 (嵐山より徒歩15分)
TEL (075) 862-2345 FAX (075) 872-3992
フリーダイヤル 0120-88-3992

マルチメディアのNEC

本気にさせます。

スゴイのにほいやすい
機を本気にさせるヤツ。
バリュースター

PC-9801 V2.3/M7

- NEC**
- ◎MMX[®]テクノロジーPentium[®]プロセッサ搭載^{※1}
 - ◎3Dアクセラレータ搭載^{※1}◎CD-R搭載^{※2}
 - ◎TV電話機能装備^{※2}

NEW VALUE STAR
バリュースター

PC-9801 V2.3/M7 標準価格468,000円(税別)より
その他豊富なラインアップ 標準価格268,000円(税別)より

※1: PC-9821 V16を除く。 ※2: PC-9821 V200/M7 model H2, J2のみ。
本パーソナルコンピュータは、オペレーティングシステムを標準搭載しています。画面はハメコミ合成です。
*ご使用の際は、必ず「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

NECグループ

連載 利他行

四、『学修』



元駒沢女子短期大学教授 太田 久紀

ある出版社の若い方と話した時のこと、衛藤即応先生の辿られた道のこと、話題になった。

近年、先生の名前を聞くことも少なくなっているのですが、意外でもあったが嬉しくもあった。

衛藤即応先生（一八八八—一九五八）のご生涯はエリートの道である。誰でもが行ける道ではない。その紹介も私などにできることではないので、ここでは私の思うことの一端を述べたいと思う。

それは先生は、ご自分の仏教研究を「学修」「参究」という語で表現しておられることであり、それと並行して「伝道」「教化」の意識を強く持っておられたということである。

修

先生は、ご自分の学問を「学修」

「参究」などという語で表現しておられる。それは主体的実践的探究と言ってよい。「宗祖としての道元禪師」には次のように述べておられる。

「自分の研究は、何か新発見をして学会に貢献しようという如き研究ではなく、あらゆる仏教の部門にわたって正当にこれを理解しようという態度を取ったので、いわゆるの研究というよりはむしろ学修という方が適当であった。」

これが先生の学問の基本姿勢であった。先生にとつて仏教の研究は仏教の真意を主体的に正しく「学修める」ものであった。

先生の著書・論文一覧を見て驚くことは、新発見のリポートとか学会に貢献する研究成果の報告という性格の論文は、皆無といってよいことである。ひたすら学び修める「学修」「参究」に専心しておられるの

だ。

しかし考えてみると「学修」こそが仏道参究の正門であり、大道だと言わなければならないように思う。

大覚世尊以来、二五〇〇年にわたつて代々の祖師たちが歩まれたのもその道であったし、その歩みこそが仏道の命脈を継承維持してきたと言つてよい。

客観的科学研究を否定するのではない。それにはその大切な使命があるのももちろんのことである。

しかし仏道の真中にあるのは「学修」「参究」の道であることは間違いないことである。

先生のその「学修」には、一つの特徴がある。それは「深まる」ことはそのまま「拡がる」ことを意味していることである。内に沈潜する「学修」は、そのまま新しい視野を拡げるといふ展開を示している。

先生の学修は、まず当然のことながら、宗学の学修から始まった。宗意安心を求めての主体的学修である。しかし当時の伝統的な祖録の提唱は、若き先生の学修・参究の念を満してくれなかつたと述べておられる。

そこで宗学を真に会得するには、宗学だけを学修していたのでは不十

分ということに気づかれ、禅一般の学修へと進まれた。

ところが禅一般の学修は、さらに先生を仏教全般の学修へと誘うことになった。仏教を知らないで禅が解らないのである。

そこで先生は、三乗・一乗の数学を広く学修されることになった。

二十歳代の後半には唯識の概説を執筆しておられるし、「大藏経講座」の「大乘起信論講義」、国訳大藏経の「華嚴経」「十地経論」、国訳一切経の「華嚴経」「撰大乘論釈」などの残された訳業が先生の広い素養を語っている。むろん天台・華嚴の一乗数学の奥義をも究め、真言数学に至つては、権田雷斧大僧正から直接一対一で伝授を受けておられる。まさに八宗兼学と呼ぶにふさわしい学識・識見であった。

先生の学修はそこに止まらず、さらに宗教哲学へ、またさらには文化そのものへと深まり拡がり、ついにはヨーロッパ留学にまで及んでいる。先生の学修は、深まることは拡がることであつた。

宗意安心を求める求心力は、先生の場合、そのまま広い領域へ拡がる遠心力でもあった。

内側に沈潜することが、先生にとつては、現在の枠を突き破って更に広い視野に立ち、そこから現在の枠を見返ることを意味していた。

先生は、壁にぶつかる度に、一歩外に出られた。一つの枠を突き破って新しい地平に進み、そこに立って現在の枠の理解を深められた。

そしてこの広い視野から現在の枠を見返るといふ先生の根本的な姿勢は、遠い彼方で利他行の「他」の实在に繋がっているように思う。

「学修」「参究」と「他」の实在とは、論理的にどう繋がるのか、無理なこじつけは控えたいが、私には、先生の意識のなかには、いつも「他」が存在していたように思う。

先生は「学修」「参究」を言いながら、一方では「教化」「伝道」といふ言葉をよくお使いになっている。先生の意識のなかには「他」が厳然として実在していた。

私は教化という語には、「教えられる者」と「教える者」という二者があり、そこに上下関係の断片を感じて、一種のためらいを持つのだが、先生にあつては内に求める「学修」「参究」と、外に拡がる「教化」「伝道」とが、広い視野に立つといふ地点で必然的なものとして結びつ

いていたのではないか。

学修参究と視野を拡げるといふことと、伝道教化ということが、先生の心のなかで混融一体となつて、必然的なものとして捉えられていたのだろうかと思う。

学修参究によつて出会つた宗意安心の悦びを「他」に伝えたい、伝えずにはおれないという熱情が、先生の心のなかに常に燃えていたのではないだろうか。

広い視野に立つ眼を見失うと、学問は閉鎖的排他的になり、狂信的になり、一人よがりになり、精神は硬直する。それは、学問に限らない。いささか飛躍するが、そのよい例

が、セルバンテスの「ドン・キホーテ」だ。彼は中世騎士道に強い興味をもち、関連の文献を片っ端から読破した。その内に熱心さのあまり、幻想と現実の区別がつかなくなつてしまう。本人は大まじめに自分を騎士道の実践者と思ひ込み、墮落した世を正さなければならぬと旅にでるのだが、はた目には滑稽な時代錯誤者でしかない。

だが果たして、ドン・キホーテは、われわれには無縁な愚行者なのであろうか。

私にはそうは思えないのである。私自身が、ドン・キホーテになつてゐることはないか。

ひよつとすると、われわれの間だけに通じる既成観念に固執して「他」にも通じるものと思ひ込んでゐることはないであらうか。

晋山式の説明はすぐ理解してもらえたが、結制はなかなか解つてもらえなかつたという苦勞話を聞いたことがある。

「他」と切断していながら、ドン・キホーテのように、通じていないこと自体に気づかないで、腹を立てたり、ぼやいたりしていることはないだろうか。

深い沈潜と、広い視野と、「他」への無限のやさしい思いとを、私は先生のご生涯から教わるのである。



經典・表装の製造から法要等の御贈答品のご用命は…

株式会社 タイキ

〒538-0042 大阪市鶴見区今津中町3丁目9番地6号

TEL.06-969-7191(代) FAX.06-969-7194

被災地・神戸市長田区で

識字教室を続ける僧

1月29日付、朝日新聞“ひと”欄より

藤井隆英さん



歌声が響く。阪神大震災で大きな被害を受けた神戸市長田区の公民館で開かれている識字教室「ひまわりの会」。休憩時に童謡をみんなで合唱する。歌詞はひらがな、ふりがな付き、漢字交じりの三種類。子どもたちの都合で読み書きを学べなかつた人々が集い、文字への理解度に合わせて学ぶ。そんな学舎の事務局長を務める。

会は週に一度、女性ばかり約四十人が顔を見せる。高齢の被災者が大半で、四人に一人は震災で住まいを失い、今も仮設住宅に住む。約二十人のボランティアが世話をするが、お互い丁寧語で接する先生も生徒もない教室だ。「彼女たちから生き方を学んだ。学ぶことに終わはない、と……」。初めて年賀状を書いた人にかメラを向けると晴れ晴れとした笑顔を見せてくれた。最初はうつむ

き加減だった人が心を開してくれるのが励みだ。

曹洞宗の僧。三年前の秋、岩手県の修行先の寺で、「被災地で何かしたい。でも何ができるのか」と迷った末、神戸市長田区のボランティア団体を訪ねた。

それから一年、僧仲間のボランティアアラと会を始めた。被災者の訪問を繰り返すうち、老いた被災者たちが公営住宅への入居申請などいろいろな場面で読み書きができない悩みにぶつかっている事実を知った。「文字を通じて心の交流ができないか」昨春、所属のボランティア団体が被災地から退いた後も居残りを決めた。

震災四年目を迎え被災者がより孤独になるのではと心配する。会への参加希望は絶えないが、会場は狭く、新しい。教室の確保が急務だ。出身は愛知県豊橋市。日中は大阪キタの繁華街にある禅寺に勤める。会とのかけもちで、好きなオカリナを手に取る時間もほとんどない。

文 木元 健二
写真 青山 芳久
(朝日新聞、一月二十九日記事より)



東武鉄道グループ

東武トラベル

運輸大臣登録旅行業第57号 社日本旅行業協会正会員

北九州	北九州市八幡西区黒崎3丁目16番4号	〒086-0021 ☎(093)621-1738(代)
福岡	福岡市博多区中呉服町2番1号(第3石橋ビル)	〒812-0035 ☎(092)271-2332(代)
長崎	長崎市恵美須町2番3号(長崎フコク生命館)	〒850-0056 ☎(095)821-7508(代)
大分	大分市都町1丁目2番1号(大分東邦生命ビル5F)	〒870-0034 ☎(0975)37-7373(代)
熊本	熊本市水道町1番30号(第百生命熊本ビル1F)	〒860-0844 ☎(096)351-3344(代)
宮崎	宮崎市高千穂通2丁目5番32号(日本生命宮崎駅前ビル)	〒880-0812 ☎(0985)27-6191(代)

ひまわりの会とは

ひまわりの会事務局長 藤井 隆英

九五年一月十七日。阪神・淡路大震災。この震災で多くの命が奪われ、さらに家屋が全壊、または焼けてしまいました。現在ひまわりの会を行っている長田も例外ではありません。

この長田には、在日外国人の方が多数居住しています。特に在日韓国・朝鮮の方が多く居住しています。在日外国人の中にはニューカマーと呼ばれる最近日本に來られた方もいれば、戦前、日本の日韓「併合」政策により、日本に強制連行させられ、そのまま日本に暮らしている方もいます。

また、その歴史的な時代背景の中で長田、及び神戸には現在も文字の読み書きの不十分な高齢者が数多く存在しています。

ひまわりの会は、SVA神戸事務所がある頃の（一九九七年三月撤収）一九九六年九月に、一つのプロジェクトとして発足しました。しか

し、それ以前より、今、ひまわりの会を行っている地域で様々な活動を行って来ました。

震災直後、地域で救援物資の供給不足や医療援助の遅れによって、厳しい状況に置かれているという情報があり、水の供給など、ライフラインの回復などの手伝いをしました。

その後、地域内に数多く存在する市営住宅へ訪問活動、情報提供といった活動を一九九六年三月まで続けていました。震災による家屋倒壊等によるそれまでのコミュニケーションが崩壊し、以前にも増して市営住宅に住んでおられた高齢者などは孤立してしまいました。訪問活動から、地域内に自由な交流の場が少なく、潜在的な要請があることを実感しました。また、その中で文字の不十分な方は、正しい情報が伝わりにくくなっているという事が見えてきました。

また、地域内に夜間中学校（丸山

中学校西野分校）があったのですが、震災により全壊してしまい移転してしまつた。さらに修業年限三年間しか在籍できない。まだまだ勉強したいという人がいても卒業という形で切り捨てられており、卒業後受け入れる場所がないという現状がありました。それらの現実を見据え、曹洞宗婦人会の協力による食事をを行い、地域内外での交流を深めた上で、地域内での深い交流の場と文字を習う場とを合わせた識字学級を開こうということひまわりの会は発足しました。

発足当初は十人程度だった参加者も現在では登録で六十名を越え、地域からの参加者だけでなく、神戸市内の広範囲から来ております。さらに来たいと言われる方があるので、場所の都合、また、細かな対応が追いつかないため受け入れを中断している状態です。神戸にはまだ数多く残っている仮設住宅から来られている方も多く、仮設住宅という新たに強制的に作られた空間の中で、震災前までのコミュニティの中でできていた情報伝達や、社会生活も自力でやっていけなくなっていました。また、仮設住宅に入られている方の多くが元々長田に

住んでおられた方であり、自力再建がままならない中で、長田に戻った中での交流、楽しみの場としての役割などにより、ひまわりの会に来ていただいています。

参加者は一番若い方で五十代。一番高齢な方で八十三歳の方であり、すべて女性です。在日韓国・朝鮮の方が多いのですが、日本の方もいます。みなさんそれぞれが抱えてきた歴史の中で勉強の機会が与えられず、これから文字を取り戻していこうという意識だけでも学ぶものはたくさんあります。

ボランティアも一番若い方は高校生から、大学生・社会人・主婦・元教師など様々であり、また、現在教師の方は一人もいなく、グループ制で進めてもらっていますが、参加者とボランティアとの関係の中で、ボランティア側の教材などの強制で教えるのではなく、交流し、お互いを分かり合う中で、それぞれの修得度や、それよりも増して参加者の方の学びたいことなどを考慮しながら進めています。また、時々交流のため、遠足や、講演など、催し物も行っています。

最後に、識字教育というのは単に「読む・書く」という技術を学ぶと

いうことだけでなく文字を獲得して自分の力を引き出すこと、そして、当然なければならぬ社会性や権利を取り戻すことです。ひまわりの会では、震災や元々自分の内にあった問題などに関しての思い、考え方や歴史などを自分自身の言葉と文字で綴ってもらうことを重要と考え、できるだけ投げかけています。言葉だけだと消え、流れていってしまう自分という存在、立場を認識し、自身で世界と向かい合う力にしてもらおうと思っています。また、それらの文章を外に伝えることにより、広く社会に認識、理解してもらえたと考えています。

ひまわりの会では文字を教える側と教えられる側を先生・生徒とは呼ばず、参加者・ボランティアと呼ぶことにしています。ボランティアは文字「は」は教える側となりますが、参加者の方達から様々なお話や文章、また、勉強をしたいという意欲を学んでおり、それらに関しては教わる側となっていると思います。この会では参加者、ボランティア間は上下の関係でなく、対等の関係の中で楽しみながら、お互いの経験や歴史、知識などを出し合い、また学び合えばよいと考えています。気軽に

ばあさんと交流する中で、直接に接しながら人権などを学んでもらえばよいと考えています。参加者の方はそれぞれ素晴らしい歴史の証人だと思ひ、お互い学ばせてもらっています。

宗門でも人権教育というものが盛んに叫ばれ、実践されていると思いますが、言葉上の問題だけ、また、言われたから直すという考え方で人権教育とはいえないのではないのでしょうか。また、新たな逆差別を起す原因となってしまうのではないのでしょうか。様々な考え方や、世界に自ら入り込み、交流し、論じあうことにより、お互いを認めあい、よりよい方向に持っていけるのではないかと思います。また、そのような場を作ることが、お寺本来の目的の一つではないかと思ひます。自分も曹洞宗の僧侶の一員としてこれからも先人の意識を引き継ぎ、実践していきたいと思ひています。

震災によりコミュニティの重要性・識字問題というものが見えてきて、ひまわりの会というものができました。今後とも長期的視点で活動を継続していきたいと思ひます。また、是非一度ひまわりの会を見に来て下さい。これからもよろしくお願ひいたします。

寺院用佛壇・佛壇・製造販売
曹洞宗梅花流法具販売指定店



ほう 光

本店・工場	〒940-8825	長岡市高畑町617番地	☎(0258)33-5644
新潟店	〒951-8142	新潟市関屋大川1-11-2	☎(025)233-4493
川越店	〒350-0043	川越市新富町1-23-2	☎(0492)44-7741
高崎営業所	〒370-0046	群馬県高崎市江木町1179-2	☎(0273)24-3721
長野営業所	〒380-0911	長野県長野市稲葉1980-1	☎(026)222-3811

あいがたいと言ふ心
おかげさまと言ふ心
もったいないと言ふ心

和顔堂に足らぬもの三つ



わげんどう
和顔愛語の和顔堂

〒141-0031 東京都品川区西五反田5-7-4

☎ 03-3490-1061(夜)
FAX 03-3490-1061
☎ 0120-7676-00

◆ 営業品目 ◆
寺院専用各種記念品・慶弔用品・御布施用品・お供物品
その他寺院用品全般・結婚式引き出物・香典返し用品
企業及び商店PR用品・販売促進品・ギフト用品全般・名入れ・包装・のし掛け

ひまわりの会に来ている李季順という方が書いた作文を掲載いたします。小さい頃の思い出や、思いなどが書かれております。(原稿のまま)

私の小さい頃の思い出

私は田舎で生まれ、田舎で育てられました。そのころは、私の家は貧しいでした。父親は漢学が仕事はしなかったのです。お兄さん二人は日本に強制され、連れて行かされていきました。生活は余裕はないし、苦しかったので、学校にも行かず、母親と野良の仕事を一生涯命にしました。春にたったの麦畑に行つて雑草をぬたり、鳥の糞をいり、草取りはかきまわす。いやに存つて足もりばして限りなく泣いたこともありました。ほかの友達とは同じ年ごろなのに、学校へ行か、いい服を着せてもらい、遊びに行ったりしてそれを見るうらやましくて、母親をせめてとあります。それが一番心に残つていて、このころ、その時代は、私の村で学校へ行く友達には大人くさいだ、と思います。けれど私はそのころは意欲もなかったし、友達と遊ぶのが楽しくてたまに遊んでました。そのころのことはいつまでも忘れません。

私の思い

私は六〇も過ぎるまで何に苦して来たか、今こそ考えてみると、何にも我慢することもなく、ただ悲しい気持ちだけが思い出さぬか、人間は生れたその日から何か一つを、残すのが、人間の役目ではないか、その日の生活に、おわけて働くことか知らない、私は気がついた時はもう六十年過ぎていました。

もし私が空をこぼたら、もし私に羽があつたら空をこぼたら、世界の広い海や高い山を空からながめたら、どんな素晴らしいだろうかと思ひます。

これから数十年前後にはいつか、ぼんの人でも宇宙旅行ができるか知れませんが、私の時代は見ることはできません。けれど二十世紀にはロケット旅行ができるかと思ひます。

私の子供ころは、陸軍自動車も見たことがありませんでした。けれどもね。

南米開教法要 (ブラジル)

8日間 (関西国際空港発着)

参加費用：398,000円
期 間：平成10年6月17日より
平成10年6月24日まで

お問合わせ先：日本旅行 本社内営業支店
☎03-3572-8372
担当：武田 常雄

阪神淡路大震災被災者追悼法要厳修

去る一月十七日、神戸市長田区御蔵・菅原地区からの依頼の下、同地区内の菅原市場にて、阪神淡路大震災被災者追悼法要が行われた。

今回参加したのは全曹青執行部並びに兵庫第二曹青の諸師方で総勢三十名程。前日までの悪天候にて足場が多少悪かったが、当日午前中は快晴に恵まれ、暖かい日射しの中、全曹青会長寿松木宏毅師を導師とし、厳肅なる法要が滞りなく行われた。

全曹青執行部は当日朝八時半に宿泊先から菅原市場へと移動、到着と同時に会場設営の協力に当たった。法要は、十時半打ち出し。まず三十秒の黙禱に始まり、読経・焼香後、会長の挨拶にて締めくくられたが、その後、兵庫第二曹青の平岩会長による法話が行われ、次いで炊き出しのうどんが中食として振る舞われた。今回は中食の合間を縫うように、手分けをして申し出のあった各家庭へも個別の供養を行なった。その後、場所をSVAの神戸事務所へ移動し、震災復興の現状とその問題点についての説明をうかがった。

忌まわしい震災から既に三年、神

戸駅周辺は、かつて震災があつたとは思えない程に復興目覚ましいものがあるが、区画整理事業が遅れている御営地区に関しては、相変わらずの仮設住宅、昨年と変化するところは無きに等しい。

説明を聞くと、経済上の問題、行政上の問題が、この地区に圧倒的にのしかかってきており、住民にとつては震災直後よりも、むしろ希望を失いつつあるのが現状であるとのこと。

また、市営住宅等に引越しをし、でも、独り暮らしの老人には生活に不便な場所であったり、馴染んだ地域から離れたという孤独感に苛まれるケースも多い。

震災後に集まった義援金も、震災規模からすると、個々の家庭に行き渡る額は微々たるものである。少なくとも住民が希望を持てる状況にならない限り、震災は過去の出来事として片付けることはできない、ということを銘記したい。

菅原市場協内組合 清水政天 さまからのお手紙

神戸は良い街、海山に近く、気候も温暖で台風も少なく、まして地震など。思いもせず、平成七年一月十六日夜。床にいたと思う。十七日午前五時四十六分、得も知れぬ突きあげが、私達をたたき起こしました。初めは何かわからず、しばらくして横揺れがあり、今迄見た事も聞いた事も無い大地震である事に気が付きました。外を見たが静かな暗闇でした。三十分程して明るくなると近辺の無残な屋並が目に入り、東三百米に煙が見え、やがて数時間の間に我が街が、火に包まれ此の世の地獄と化しました。其の間に近隣六町だけで百六名もの貴い命が奪われました。大方の人が古くからの顔見知りで心を痛めていました所、全国曹青の僧侶の方々が沢山来て下さり、鎮魂の供養の数々の行事が行なわれ、私達の心が安まる思いでした。其の後毎年沢山の方が御参り下さり、どれだけ心の救いになる事か、感謝にたえません。思えば、遠い所から寒い中交通の便、宿泊にも不自由の中、大変な御苦労された事と思います。本当に土

地で、知らない人々が神戸の事を、励まし祈って下さっている事を忘れた事はありません。皆様方を御紹介下さいました兵庫商会社長、田中保三様、沢山のボランティアの方々、言葉では云いつくせない程の感謝を致しており、本当にありがとうございます。



「震災後のまち」を見つめて

まち・コミュニケーション

小野 幸一郎

○「慰霊祭」がきっかけ

私たちが「まち・コミュニケーション」という復興まちづくりの支援グループを立ち上げるきっかけとなったのが、一昨年の一月十七日に行われた「御菅地区合同慰霊祭」であります。

ご承知のように、ここ神戸市長田区御蔵菅原地区は、震災による火災でまちの原形がわからなくなる程の被害を受けました。地震直後の出火もありましたので、建物の下敷きになつたまま炎に飲み込まれた方々も少なくなく、地区全体で約一二〇名の尊い命が失われました。

その後、まだ殆どの住民が「避難生活」を余儀なくされている状態の中で、都市計画一画区画整理の決定がなされ、住まいの目的が立たない中で「道路・公園の素案づくり」が始まったのでした。

やがて、避難所は閉鎖され、行き場のない多くの方々は遠方の仮設住宅に移住し、更地だらけのまちには

悲しいほどの静寂が広がりました。一周忌の慰霊祭はそんな中で行われたわけですが。

地域の中で合同の慰霊祭を催すべく、事務局を佛兵庫商会の会議室に置かせていただいたのが縁で、現在も図々しいながら同所にて活動させていただいております。それは、慰霊祭の準備でまちの多くの方々と出合い、お話を同う中で「地域」という単位で物事を考え、話し合い、活動することの重要性をしみじみと感じたことが、幾ばくかでもまちを支えるお手伝いが出来ないかという思いと結びついた、その結果からであるといえます。



兵庫2、平岩会長

○人のいないまちで

一周忌・三回忌・そして今年と、曹洞宗青年会のひとかたならぬご支援をいただきながら執り行われた慰霊祭ですが、おいで下さる僧侶の皆様は、御蔵菅原の現状をご覧になる毎に嘸然とされておられるのではないのでしょうか。

震災から三年が過ぎた今も、かつての三潮ほどの人しか住むことが出来ないまち。プレハブで店舗を再開した市場・商店も多くが危機に瀕しています。復興に向けて階段を一段ずつ上がっていると思いきや、震災の年から状況は何ら好転しておらず、むしろ衰弱していると言っても過言ではないでしょう。

「慰霊祭」を始め「花まつり」「夏まつり」など震災後に行われた幾つかの催しは、沈滞化する地域にとつては一時の活力源であり、清涼剤であり、懐かしい顔が集まる和みの場であったと言えます。しかし、震災から四年目を迎えるなか、単発の催しさえも行うことが困難になってきているのが現状でもあります。

○悲しみの先に

「忘れてはならない」と言いますが、忘れられないのです」「忘れ



まじ もう行つて云う 妻の声」
「涙が出ないのです。声が出ないのです」

今年の一月に新聞に載った、震災犠牲者の遺族が書かれた手記には、一瞬にして最愛の家族を失った悲しみが今なお生々しく胸に残る様子が、切々と述べられていました。多くの遺族の方々にとつて、震災は「過去の出来事」ではないのでしよう。六千数百名、閔死死を含めれば七、八千名にのぼると言われる死者の数は、本当に重いと云えます。

この多大な犠牲を無にしないためにも、今を生きている私たちはこの震災の経験を社会に生かしていかなければなりません。稀にみる都市型自然災害がもたらした現実を克服できる

ものは、「人為」に他ならないはず
です。

悲しみの先にあるものは、やはり
「希望」であるべきです。

○見つめ続けること

今年も寿松木会長をはじめ皆さま
のご尽力で、ささやかながら慰霊の
集いを行えたこと、本当に感謝いた
しております。平岩和尚の法話を頂
いたあと地元の皆さんで茹でられ
たアツアツのうどんをほおばりなが
ら、あちこちで談笑の輪が名残惜し
そうにいつまでもいつまでも花開い
ていました。

私たちの力は微力ですが、住民の
皆さまの生活・住宅再建に少しでも
お役に立てる活動をこれからも続け
る所存です。そして又、震災後のま
ちをつぶさに見つめつづけた者とし
て、被災地の問題を問い続けていき
ます。

曹洞宗の皆さまにおかれましても、
何とぞ引き続き御蔵・菅原をはじめ
阪神・淡路を見つめ続けて下さりた
く思います。

それが被災地で必死に生きている
方々にとって何よりの励みになるは
ずです。



○「まつり」雑感

田中 保三

当地神戸市長田区御蔵通・菅原通
では、全曹青の皆さんに、三度の慰
霊祭、二度の花まつり、夏まつり
等々、数限りなくお世話になりまし
た。

今年の慰霊祭にも、寿松木会長を
始めとして、曹青の皆様により、厳
かに行われ、遺族の皆様、地区の皆
さんに心から喜んで頂きました。

この街は、区画整理のために、未
だ戻ってきた人は三割に達しており
ません。長田区の人口は、地震前に
比べて四万人余の減少をみておりま
す。

「まつり」をすることによって、
遠くに離れられた方々も戻って来ら

れ、地域に、人々に、懐かしみを覚
えられる様は何とも言えません。

この地震で受けた教訓は、「閉じ
こめられた人の救助は、自力で這い
出した住民による救出」という厳し
い状況でした。人間関係の、ともす
れば希薄な大都市で、老若男女バラ
ンスよく住め、如何に地域コミュニ
ケーションの絆を強化出来るか、大
きな課題を残しています。

そして、私は全曹青の皆さんの御
支援による当地域での、数多くの

「まつり」で沢山のことを学ばせて
頂き、今尚、学んでいます。それは
やはり、行動することの大事さとい
う一語に尽きます。例えば、岡崎さ
ん。伊申さんの仲立ちで、宮城県古
川町の七夕飾りを譲って頂き、中新
田町の皆さんに出会い、皆さんがボ
ランティアで七夕飾りの建て方に來
て下さったことによって、神戸で注
日を集めた本場のその優美に揺らぐ
七夕まつりが出来たこと。また、N

TTに無理を承知で掛け合い、菅原
市場駐車場に電信柱を建ててもらい、
七夕を飾ったこと。三回忌の慰霊祭
には、この三十年余、川に流すこと
を禁じられ、殆どの人が不可能と思
っていた精霊流しを、当局の許可を
得て、桜井前会長自ら川面に降りら

れ、読経の中、一二〇余を流し得た
こと。また、荒木さんの法話は十回
を越え、今も地域の皆さんが恋い焦
がれるが如く、まだかと待つておら
れます。

数えあげれば、枚挙にいとまがあ
りません。

始めから諦めるのではなく、方に
一でもと思つて懸命の努力をすれば、
意はずから通ずと実感しています。

多くの若いボランティアの皆さん
も、きつと多くの教訓を受けたもの
と確信します。次世代を担う彼らが、
学習効果を発揮できたなら、これ程嬉
しいことはありません。場を与えて
頂きました全曹青の皆さん、本当に
色々な御支援をありがとうございます。



禅文化化学林

地方開催!!

九曹の御尽力にて

大分・別府大会無事円成!!

平成九年度禅文化化学林が去る二月六日大分県別府市亀ノ井ホテルにて「青年僧に望む」をテーマに開催された。ひろさちや先生の「仏の命」と題しての基調講演と各方面からの七人のパネラーに加えひろさちや先生、参加者によるパネルディスカッションが行われた。

今年度の「禅文化化学林」は、地方開催とし九州曹青皆様方のご協力により、大分県別府市での開催となった。

菊屋先生から現在の葬儀、火葬についての意見が出され、資源のエネルギーや、他の生き物への布施などを考えて上葬を考えてみてはとの御意見。

また、会場の、ご老師から、「布教するには体験が無くてはだめなんだ、青年僧にもう一度出家に帰ってほしい。」との意見が述べられた。

女性の方より仏教観、宗教観のある人、ない人の終末の迎え方の違いについての質問がなされると田畑先

生は、ある患者さんの話をされながら、「仏の智慧を学ぶことによって生きる姿勢が違ってくる。そして、生き様が死に様に現れる。」と答えられた。

他方、青年僧より昨今の少年犯罪についてマスコミの対応、家庭環境問題の提起。南先生は「今の少年犯



ひろさちや先生を御紹介、九曹青会長 甲斐之彦師。

罪に対しての物の見方がその人間が持っている犯罪性だけを見てしまう見方は非常に危険じゃないか。」と話され、菊屋先生は、「子供達がパーチャルワールドでしか育っていないため、もつと体験させなくちゃいけない。青年僧の宗教論もパーチャル世界だから、すべて体験の中からたたき上げて、生み出した物で自分の宗教を見、子供達の非行論を考えてもらいたい。」と指摘された。

次に、青年僧より「今、目の前に、今まさに死にそうな人がいて、その人に何かしてあげるのはなんですか。」という質問に対し、灌老師は、「任せなさい、安心して任せなさい」と、田畑先生は「一つは仏様がいらつしやることをしつかり教えなさい。もう一つは、お任せするっていうことをしつかり伝えなさい。」と仏教の先生に教えられたと話されたのである。

☆当日参加された方々にアンケートをお願いしたところ、



参加された御老師からの提言。

○「此岸の機能価値にもとずく競争原理に流されることなく、彼岸の智慧（仏法の原理）で全てのものを諸法実相にみるべき。」との指摘、仏教者としての基本的姿勢を考えられました。

○仏教者（教団人）だけでなく、専門分野で実際に活躍されている方々の発言は新鮮なものがああり、教えられることばかりです。仏教の原理も自然そのものの真理（縁起の法）だから、共に教え合っつてゆけば、更にお互い深い活動ができると思います。パネリストの人



パネラーの先生方。

○選まことに的を得たものでした。社会問題について(例えば教育、環境、生命、差別等々)僧は智慧に立脚してもっと発言して、関わって行かなければならないとおもいます。(ひろ先生に指摘されたように仏教者の怠慢だったと反省させられます。)それと共に専門分野の方々の意見を謙虚に聞くことも大切だと思います。曹洞宗の青年僧の真剣な取り組みをたのしく思います。

(浄土真宗願寺派 僧侶 四十八才)

○此岸から彼岸へ行く間には、どんな橋が架かっているのでしょうか?。先生に娑婆の知恵、仏の智慧・死とは何かを教えてくださいました。そして、いまある疾患と親しく付き合っている私の心に明るい灯火を灯して下さいました。

○生命とはなにか?自然界の摂理を通じて私たちに問いかけていることを諸先生から学びました。いくつかの問題提起がありました。臓器移植による延命、学校教育のこゝと、生きるこゝの本質への取り組みに、医療も仏教も長い歴史があることを等、深い感銘をうけました。

○私たちが困ったとき、頼れるところは、何処か誰か魅力を感じる寺院活動を期待します。私には、まだ寺院との本当の意味での接点が見えてきません。シンポジウムに一般のものにも参加のご縁をいただき感謝申し上げます。

(男性、七十才)

などの感想が寄せられた。

今回のテーマ「青年僧に望む」は、制限された時間内のまとめや、決して結論は不可能。しかし、参加された各自が一人一人の思いを「照顧脚下」し、日々の行持の中で実践す



パネラーの先生方。

ることがその糸口になるであろうと感じられた。

最後に九州曹青各位、関係者の皆様には企画の時点から御協力等、今回無事円成されるまでの御尽力に対しまして深く感謝申し上げます次第であります。

☆禅文化学林地方開催。とても良い企画で、一般の方々の参加も多く反響が大きかった。



墓石工事全般・環境石材
造庭園施工・土木工事業



泉山石材株式会社

☎031-0023 青森県八戸市是川坊坂1-2
代表 (0178) 96-1414
FAX (0178) 96-5716

全国曹洞宗青年会

平成十年度総会開催について(ご案内)

謹啓、陽春の候、時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素当会の活動にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、全国曹洞宗青年会平成十年度総会を下記の通り開催いたします。ご多忙のところ恐縮に存じますが、何卒ご出席下さいますようお願い申し上げます。

なお総会終了後、禅の集い中央研修会として、去る二月に開催された「禅文化学林」の開催報告(ビデオを交え)、各地区におかれまして開催されている禅の集いの中で、アイデア豊かに行っているいくつかの事例を紹介させていただきます。また、懇親会も予定しておりますので、引き続きご参加下さいますようお願いいたします。

- 記
- 一、日時 平成十年六月十六日
 - 二、会場 東京グランドホテル三階「桜の間」
 - 三、議題 一、平成九年度事業報告

告ならびに決算

二、平成十年度事業計画ならびに予算

三、第十三期会長選挙報告

四、その他

四、懇親会

一〇、〇〇〇円(懇親会費として一〇、〇〇〇円お願いいたします。)

五、日程 十時 評議委員会

十三時 総会

十五時 禅の集い中央研修会

十七時 懇親会

※まことに勝手ながら、本通知を持ってご案内に変えさせていただきます。総会並びに懇親会の出欠の有無を同封の葉書にて六月六日まで事務局へご送付下さいますようお願い申し上げます。(※切手を貼って下さい)

曹洞宗専門
法衣・仏具
梅花流法具

衣

株式会社 細野福藏商店

〒604 京都市中央区高倉通御池南入
TEL 075(221)1455(代) FAX 075-221-7811
フリーダイヤル 0120-1455-07

寺院用品・法衣・袈裟・金襴・諸經典発行・佛壇・佛具

総合仏具店

中 居 堂

〒980-0803 仙台市青葉区国分町3丁目10番32号
代表電話/仙台022(225)4495番
FAX専用/仙台022(225)4490番

全曹青の コラム

ビハラーって何？

秋田ビハラーの会代表 袴田俊英
改めてビハラーとは何だろうか、



〒018-3203 秋田県山本郡藤里町大沢 月宗寺 内
ビハラー代表 袴田俊英
Tel.Fax: 0185-79-2468

に自信が持てないという気持ちがあ
ったのかも知れない。葬式坊主とい
う言葉は江戸時代からあるらしいが、

という
ことを
考えた
い。初
回に、
僧侶と
して何
できる
か、な
どと大
げさな
ことを
言って
しまっ
たのだ
が、裏
を返せ
ば僧侶
として
の自分

さらに加えて世襲になって親の職業
を継ぐような気持ちで僧侶になった。
果たしてこんな自分が人から拝まれ
るような存在なのか。

そんなこちら側の思いに関わりな
く、社会は僧侶を必要としていた。
それは葬祭の場においてのみでなく、
昨年秋曹青との共催で「死をみつめ
今をいきる」と題したシンポジウム
を秋田市で開いた。医療・福祉関係
者が大勢参加したが、医療技術の進
歩や社会の変化がもたらした心の問
題が指摘され、その解決を仏教に期
待する声が多く聞かれた。ビハラー
のような集まりが全県規模であれば
いいのにとこの感想も多かった。僧
侶に対するニーズは確実にある。寺
の中にはそれが見えてこない。
大衆教化の接点は、大衆の中に身を
置くことなしに見つかるはずはない。



全日本佛教青年会 「千僧法要」について

来る五月二十六日、奈良・東大寺
において、花まつり「千僧法要」十
周年記念法要が開催される。

仏法興隆誓願及び人類の福祉向上
と恒久平和を祈る意味でおこなわれ
たこの法要も、今年十年目を迎える
にあたり、参加人数八百人の大規模
な法要を予定し、曹洞宗からは百五
十人の参加を希望している。現在、
全曹青OBにも御協力を仰ぎ、でき
るだけ多くの参加を募っている。

期日 五月二十六日
場所 奈良県 東大寺
日程 午後十二時 受付
午後一時 大仏殿内にて法
要

引き続き
アショカピラー前にて読
経
午後三時 記念交流会

なお、参加のお問い合わせは、全
曹青事務局まで。

谷口法衣仏具店ならではの…

技の粹

御法衣、御袈裟、御仏具、
荘厳具、記念品



両大本山御用達 曹洞宗専門
株式会社 谷口法衣佛具店
〒606 京都市下京区高辻通麩屋町東入
電話 京都075(351)9741(代)
FAX 京都075(351)9692
梅花講御指定販売店

全生園の花まつり、法要厳修

四月十八日、総合企画事業研修委員会主催による今年度「花まつり」法要として、東京都東村山市の国立ハンセン病療養所多磨全生園にて、研修と「花まつり」慰霊法要が行われた。当日、本庁研修道場にて、「業論」についてのビデオ研修。その後、十二時より全生園納骨堂の前で花まつり法要、並びに慰霊法要が厳修された。そして、ハンセン病資料館を訪問し、ビデオ研修、展示室見学を行ない、全生園内を視察した。参加者一同、ハンセン病を正しく理解し、社会の誤解と偏見を二度と繰り返すことのないよう広く一般の人々に教化とする事を深く心に刻んだ。



編集後記

○題字「そうせい」は、乙川良英宗務総長老師にお書きしていただいたものでございます。厚く御礼申し上げます。P1の記事は、「ほくらのふるさとを守る」というテーマでの講演会。これは、「ふるさと水と土ふれあい事業」のPRと、水の大切さ、生息する生物の保護などについて、広く一般の住民に周知することを目的としたものである。

○本庁の視聴覚教室の16mフィルム上映（「地球の秘密」「地球SO S」）は、子供さん、お年寄りの方、どなたでも親しみ易く、環境問題を考える好テキストである。

○宗門婦人会の方々が取り組んでおられる「せっけん」について、お話ししたところ、皆様強い関心を示した。そこで、次回も子供さん、お年寄り皆で勉強しながら環境問題を身近な事として実行していきましよう、話し合った。



○16mフィルム上映には、種市町教育委員会の方々、振興会役員の方々に大変お世話になりましたことここに御礼申し上げます。

○漁協婦人部の活動等詳しくは、お近くの漁協へお問い合わせ下さいとのこと。その活動、運動には敬意を表する次第であります。御協力有難うございました。また、食物連鎖は「いのち」のつながり、として説明すると、小さい子供たちも理解でき法話などにも活用できると思われる。



表紙・写真は岩手県種市町
中里光男氏提供。

発行所

全国曹洞宗青年会

〒105-0014 東京都港区芝2-5-2 曹洞宗宗務庁内

発行責任者 寿松木 宏 毅 編集責任者 東 井 千 明

T E L 03-3454-5411 定価100円

郵便振替 00110-1-130539

全国曹洞宗青年会